

2025年(令和7年)
10月8日
水曜日

夕刊

神戸新聞



自然の味を守って...
植垣米菓株式会社
UEGAKI BEIKA
www.uegaki-beika.co.jp

新聞社 〒650-8571 神戸市中央区東川崎町1-5-7 https://www.kobe-np.co.jp 購読・配達お問い合わせ 0120-16-8349 10:00~17:00

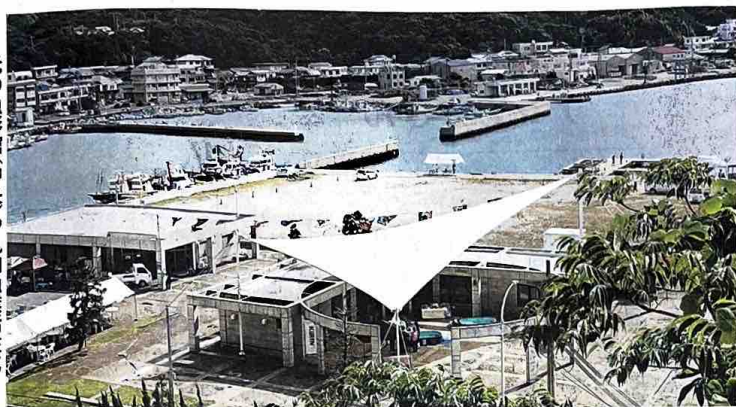
南あわじ市・丸山漁港

魚の学習施設や食堂、釣り堀整備

漁港振興 民間資本で

27年春オープン 漁業者「士気高まる」

南あわじ市阿那賀の丸山漁港で、地元で取れた魚を使った学習施設や食堂、海上釣り堀などを整備する計画が進んでいる。昨年の改正法施行で、漁港内のスペースを民間企業が活用できるようになったことが背景にあり、活用事業の策定は全国3例目という。昨年3月に閉館した市有の直売所や住民施設もリニューアルし、2027年春のオープンを予定している。(劉 楓音)



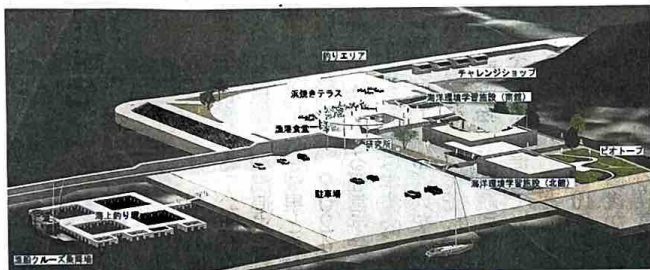
元の魚彩館中央や丸山漁業活性化センター(左)を活用し、食堂や海洋環境学習施設などをつくる丸山漁港。一帯は南あわじ市阿那賀。

丸山漁港はタイ漁が盛んで、大正時代から皇位継承時の大嘗祭に干物を献上。「献上鯛」のブランド化に取り組みしており、ワカメの養殖でも知られる。ただ、漁獲量は低迷が続く。南あわじ漁業協同組合青年部の小磯知也さん

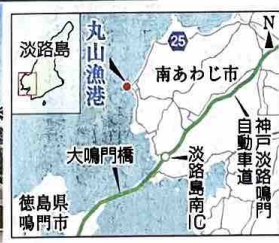
■漁獲量の低迷

(37)は「水温の上昇や海の栄養塩不足が原因。漁だけで食べていくのは難しい時代」とこぼす。

全国的に、漁港の新たな収益化事業は課題となっており、国は2023年に、



①丸山漁港に整備される新施設の完成イメージ図。新施設は完成イメージ図(完成イメージ図)と提供。



改正漁港整備法 水産物の消費減少や不漁を受け、漁港施設や用地を活用して、地域の雇用やにぎわいを生み出すと、2024年4月に施行。漁業に支障がないよう配慮した上で、民間企業による水産物を使ったレストランや漁業体験など、海業(うみぎょう)の振興を図る。用地の貸し付け期間は最大30年に延長された。

漁港整備法を改正。漁釣り堀を運営するなどの実績があり、水産振興とまちづくりを一体的に推進する方針を打ち出した。水産庁によると、法改正による漁港活用事業の策定は全国では3例目。

新施設は、水揚げされた新鮮な魚介類を提供する食堂や小売店、鳴門海峡や播磨灘を再現して生態展示する学習施設のほか、釣った魚をさばって食べられる海上釣り堀やピクニック場などを予定する。兵庫ベンダの本丸勝也社長(左)は「観光客に海のことを知ってもらい、魚に付加価値をつけて販売することで、漁業者の収入増や地域の活性化につなげたい」と話す。

■法改正活用3例目

丸山漁港では、兵庫ベンダ工業(姫路市)が漁協と共同で、株式会社「まるやま」を設立。兵庫ベンダは海洋水産事業も手がけ、「マリニピア神戸さかなの学校」(神戸市垂水区)で

どうも皆さま、自宅マンションのエレベーターに小学生の女の子に続いて乗ろうとしたら、ものすごい勢いで閉めるボタンを連打され乗るのを諦めた桂三若です。兵庫県警さんとのタッグで「防犯意識を高める」取り組みをしている僕としては、知らない人となるべく一緒にエレベーターに乗らないのは良い心がけだと思えます。なぜか涙が止まりませんでしたが、兵庫県でもさまざまな犯罪が起これています。特に特殊詐欺の被害は増え続けています。少しでも詐欺から身を守るためにその手口を分かりやすく落語にして、県警さんのユーチューブチャンネルで公開しています。

落語で防犯

桂 三若



随想

ました。事情を説明すると「ほな目のところ、黒く塗らんでええな？」って当たり前やがな(汗)。新聞地のうとん屋さんでも女子高生2人組の1人に「ボスターの人や」と声をかけられました。もう1人は知らなかったみたいで「誰？ 有名な人？」。すると相手は「うん、全然」。全然って言わないで！ さらに僕がうとんを食べていると、女子高生は「あー」と叫び「落語家さんって扇子でおとん食べるんじゃないんですか？」って、「扇子ベチョベチョなるわー」と突っ込みつつも、明るく若い子たちが犯罪に巻き込まれないよう願いました。詐欺の手口は日々変化します。奥さんがSNSの投資詐欺で、旦那のほうは国際ロマンス詐欺にだまされたなんていう、そのような話を落語で創りました(落語なんや)。ぜひユーチューブを見て、自分の身や大事なお金を守ってくださいませ。とにかく「うまい噺にだまされるのは落語だけ」でお願いいたします。(落語家)